

なぜ油の漏れが発生したのか？ 原因を早急に解明すること！

6月17日、名古屋地本は4月27日の朝、関西線で走行中の快速「みえ2号」の床下から燃料漏れが発生し緊急停車する事象について車両故障と事故防止にむけて会社と業務委員会を開催しました。

【会社回答】

1. 今回の事象を詳しく図面と写真で説明すること。

回答：燃料ポンプ配管のエルボ一部分のネジ部から燃料がにじみ出ていたものとする。

2. 燃料が漏れた原因を明らかにすること。

回答：1と同じ回答である。

3. 車両点検のあり方を明らかにすること。

回答：従来通り規程、マニュアル等に従い必要な点検を実施している。

4. 今後の事故防止と対策を明らかにすること。

回答：原因については詳細な調査を行い対策については現在検討中である。

5. 列車への影響について明らかにすること。

回答：旅客列車の運休7本、遅延8本（90分～12分）、貨物列車遅延2本（180分～102分）

6. 作業の手順はどの様に行われていたのか明らかにすること。

回答：規程、マニュアル等に準じた検査作業を実施している。

【主な議論】

組合：今回、初めての事象なのか。

会社：そうである。

組合：漏れた燃料の量はどれくらいなのか。

会社：量としては少量である。

組合：なぜエンジンが止まったのか。

会社：漏れた箇所から空気が入りエンジンが止まった。

組合：当該車両の検査はいつ行われたのか。

会社：交検検査2015年3月31日。仕業検査2015年4月21日。

全般検査2013年12月5日に行っている。

組合：現在、当該車両はどうなってるのか。

会社：漏れた部分の燃料ポンプを取り替え運用している。

組合：他の車両については油漏れは出ていないのか。

会社：出ていない。

組合：漏れた原因はなにか。振動とかが影響したのではないか。

会社：何らかの力が働いたと思われる。メーカーにも対策を求めている。

組合：この車両の製造年月はいつか。

会社：1993年製造で22年経っている。

組合：他の形式車両はどうなのか。

会社：問題は出ていない。

組合：原因が分かったら対策も含め明らかにすること。

以 上